

名古屋哲学セミナー

第 50 年度

2025 年 5 月～

2026 年 4 月

第二例会 (第 4 土曜日)

講師 赤石憲昭さん

毎月 第 4 土曜日

PM 2:00～5:00

会場：国鉄会館 7F

JR 名古屋駅 新幹線口

現代日本社会の諸問題

―― ヒューマニズムに根ざした生き方の実現を目指して ―

第 2 例会では、真下先生のヒューマニズムの哲学を念頭に置きつつ、日本社会の様々な問題について、比較的新しいテキストをもとに一緒に考えます。わたしたちの生活を苦しめる根源の財務省の問題からはじめ、日米関係や安全保障、ジェンダー、教育、貧困などの具体的問題について、有効な指針を与えてくれるテキストを厳選しました。最後は、真下先生の名古屋哲学セミナーの講義録である『自由と愛と』を二回に分けて丁寧に読み、締めくくります。毎回、テキストの内容をまとめたレジュメを用意します。テキストをお持ち・お読みでなくても、興味のある回にお気軽にご参加ください。

月 日	テ ー マ	内 容・テ キ ス ト など
5/ 24	総理大臣をも操りわたしたちの暮らしを苦しめる諸悪の根源？	財務省の問題を高橋洋一『財務省亡国論』（あさ出版、2024 年）をもとに考えます。
6/ 28	財務省だけではない日本社会の様々なタブーにメスを入れる	日本社会の隅々にはびこる保身の問題を森永卓郎『保身の経済学』（フォレスト出版、2025 年）をもとに考えます。
7/ 26	希望を紡ぐ学びをどう保障するか～奈良教育大学附属小学校の問題をもとに～	奈良教育大学附属小学校の問題を折出健二先生（愛知教育大学名誉教授）にお話いただき、教育の問題と市民社会の課題について考えます。
8/ 23	戦後 80 年支配され続ける不自由な国日本の極めて危険な現状	日米関係について布施祐仁『従属の代償：日米軍事一体化の真実』（講談社現代新書、2024 年）をもとに考えます。
9/ 27	ロシア専門の軍事学者が考える日本の安全保障と憲法	安全保障と憲法の問題を小泉悠『小泉悠が護憲派と語り合う安全保障』（かもがわ出版、2025 年）をもとに考えます。
10/ 25	SNS が非常に大きな影響を持つ現代の情報リテラシーとは？	注目される SNS の問題について、烏賀陽弘道『プロパガンダの見抜き方』（新潮新書、2025 年）をもとに考えます。
11/ 22	ジェンダー平等を本当に実現するための方法を考える	ジェンダー平等と LGBTQ 問題について神谷悠一『差別は思いやりでは解決しない：ジェンダーや LGBTQ から考える』（集英社新書、2022 年）をもとに考える。
12/ 20	メルロ＝ポンティの現象学から読み解く絵画の世界	フランスの哲学者メルロ＝ポンティを研究する渡辺亮さんに映像資料も用いながら絵画に関する講義をして頂きます。
1/ 24	世界的に著名な経済学者と哲学者による注目すべき平等の議論	「平等」をはじめとする現代世界の諸課題をトマ・ピケティ／マイケル・サンデル『平等について、いま話したいこと』（早川書房、2025 年）をもとに考えます。
2/ 28	自己責任論では絶対に片付けられない貧困の深層と社会の課題	貧困について鈴木大介『貧困と脳：「働かない」のではなく「働けない」』（幻冬舎新書、2024 年）をもとに考える。
3/ 28	『自由と愛と』を熟読して「人間」について改めて考える①	真下信一『自由と愛と：現代を生きる人間の哲学』（名古屋哲学セミナー、2021 年）第 1・2 部を読む。
4/ 25	哲学セミナー最終例会 『自由と愛と』を熟読して「人間」について改めて考える②	真下信一『自由と愛と：現代を生きる人間の哲学』（名古屋哲学セミナー、2021 年）第 3・4 部を読む。